

令和5年度中高生海外派遣代替事業報告書

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度～令和4年度まで中止していた姉妹都市米国ウィスコンシン州メノモニー市への市内中学生の派遣事業は、現地での受入れ態勢が整わず、今年度の再開も叶わなかったことから、代替事業として、福島県にあるブリティッシュヒルズで3泊4日の研修を行いました。

ブリティッシュヒルズは、マナーハウス（荘園領主の館）を中心に中世英国の街並みを再現した施設であり、施設内の建築資材は英国から取り寄せ、建築様式からインテリアに至るまで、時代考証に基づいて設計されています。

施設内での公用語は英語です。“パスポートのいらない英国”とのコンセプト通り、建物の様相、雰囲気だけでなく、受付での総合案内、パブ等での食事の注文、おみやげショップでの買い物、さらにはすれ違うスタッフ・教員との挨拶など、滞在中のあらゆるシーンで必要に迫られた英会話が発生します。

また、ブリティッシュヒルズが位置する羽鳥湖高原は、気候的にも、英国スコットランドのハイランド地方に近い風土を持つそうです。

このため、単に英語を学ぶだけではなく、日本にいながらにして、まるで海外にいるかのような環境での研修が実現できたのではないかと、振り返ってみて感じます。

事業の内容は以下のとおりです。

- 1 日 程 令和6年2月17日(土)～20日(火) 3泊4日
- 2 場 所 ブリティッシュヒルズ（福島県天栄村田良尾字芝草1-8）
- 3 参加者 南那須中学校7名、烏山中学校3名の生徒10名
市教育委員会事務局学校教育課の引率職員3名
- 4 内 容 オールイングリッシュによる共同生活、レッスン、アクティビティ
- 5 記 録

【令和6年1月11日(木)説明会】18時半～、市役所南那須庁舎にて



ブリティッシュヒルズでの研修に関し、説明会を行いました。

初対面となり、緊張している様子もうかがえます。

このメンバーで行ってきます！

【1日目：2/17（土）】



11:16

集合場所の武道館脇にて2回目の集合写真。

天気も良く、保護者の皆様に見送られ、これからドキドキわくわくのブリティッシュヒルズへ出発です！🚗



バス車内にて。

福島県に入りました。
雪が残っていますね❄️



敷地内に入りました。
もうすぐ到着です…！



14:00

到着しました！
ブリティッシュヒルズのスタッフ、教員に歓迎されたのち、荷物の運び出しです。

【Passport control】 Teacher : Randy



14:05

到着後、まずは疑似パスポートを用い、入国審査を模した手続きを一人ひとり行います。

もちろん英語で行います！

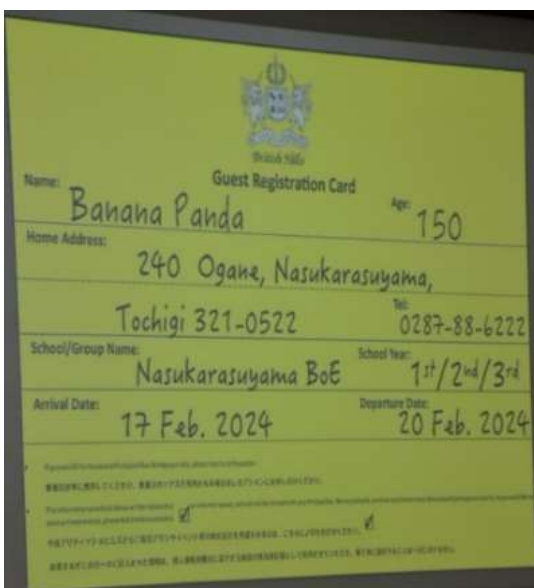


【Check-in】 Teacher : Randy

14:15

次はチェックインです。

Guest Registration Cardにそれぞれの情報を記入し、ルームメイトと一緒にチェックインし、ルームキーをもらいます。



【Guide to dining & Manner House Tour】 Teacher : Randy



14:30

続いて、オリエンテーションで施設内での過ごし方の説明を受けました。

その後は、食事の案内やマナーハウス内のツアー。

すべて英語だったので、聞き逃しがないよう、真剣に耳を傾けていました。

→英国の全寮制大学のメインダイニングを模した「リフレクトリー (refectory)」。

リフレクトリーという単語は、中世以来の僧院や大学において、一堂に会して食事をとる大広間を指します。

両側の壁面には、英国内の主要な州や都市の紋章が掲げられています。



←玄関口の天井やエントランスホールの天井は18世紀中頃から大流行したウェッジウッド流の漆喰工法となっています。

↓階段ホールには大きなステンドグラスが。



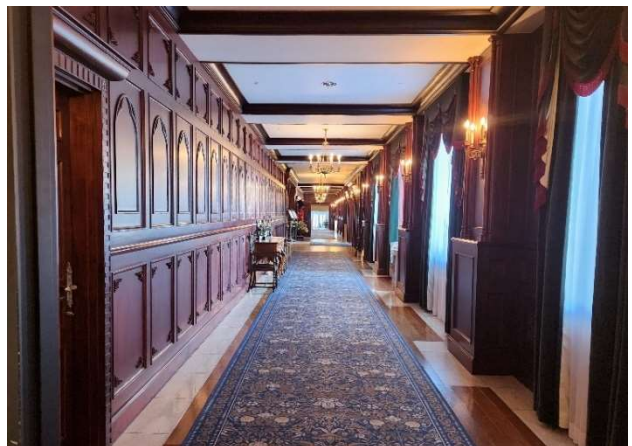
→二階のライブラリーにある、フランス語で“内緒話”と呼ばれるソファ。その不思議な形は、ひそひそと囁き合うために作られたとか🇫🇷



←ライブラリーの奥には重厚な会議室。マナー研修や企業の会議にも使われるとか。

あの国民的アイドルが主演の学園ドラマでも使われていた部屋です！

→素敵な雰囲気の良い廊下です。

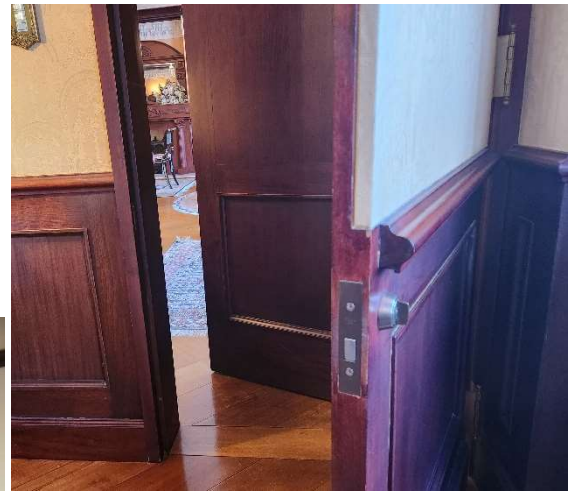


←マナーハウスの主人が居住するキングスルーム。椅子の肘掛や脚の部分は「日の没するところ無き大英帝国」を象徴するライオンが使われています。

→夫人の部屋であるクイーンズルームは、キングスルームとは一転し、家具の脚が卵を抱いた水鳥の脚の形になっているなど、曲線が多く、ソフトな印象です。



→キングスルームとクイーンズルームの間のドアは両側から鍵がかかる二重扉になっており、どちらか一方が機嫌をそこねると相手方は中に入れない仕様。おもしろい造りですね ■



←館内には礼拝堂(チャペル)もあります。

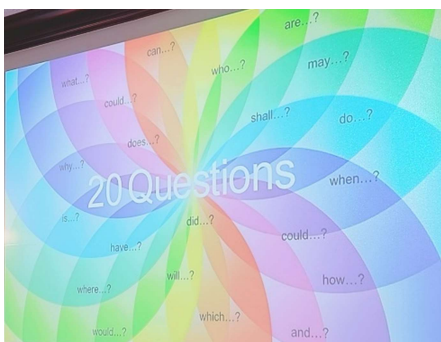
→ビクトリアンアレー (Victorian Alley) は、英国の経済発展の絶頂期「ビクトリア朝時代」のAlley (アーケード) から高価・高品質な商品を取りそろえる様子をイメージしたギフトショップです。
英国に関連した紅茶やお菓子、雑貨、アルコール類の購入ができます。



【Lesson 1】Survival English / teacher : Yonique 16 : 00

いよいよレッスンが始まります。

最初のレッスンでは、研修に向けたウォーミングアップとして、滞在中に役立つフレーズを学びました。



【Buffet dinner】 18:00

待ちに待ったdinnerです！ビュッフェ形式で、それぞれ好きなものを好きなだけいただきました。



Dinnerのあとはfree timeです。



19:25

ライトアップされた夜の景色も、昼とは違った雰囲気で綺麗でした ✨



宿泊棟は2号棟のBentley（ベントレイ）です。
部屋は二人一部屋です。

なお、宿泊棟は9つあり、それぞれが異なった時代の建築様式によって建てられています。

（Bentleyは17世紀～18世紀のスチュワート様式）



家具や調度品のデザイン、カーテンやベッドカバーの柄にいたるまでが、その時代に沿った仕様となっています。



→バスルーム（シャワーブース、トイレ、洗面）
は共用です 🚻



窓からの眺め（夜） 21：35

【2日目：2/18（日）】



窓からの眺め（朝） 5：52

宿泊棟の各部屋に備え付けてあるマントは
防寒対策として自由に着ることができます。



6 : 43

← 宿泊棟Bentley前で朝の一枚。

これからbreakfast会場の
refectoryへ向かいます。

7 : 40

↓ 朝食後にマナーハウス前にて



【Buffet breakfast】 7 : 00



【Lesson 2】 Fun with Directions / teacher : Jamie、Randy 9 : 00

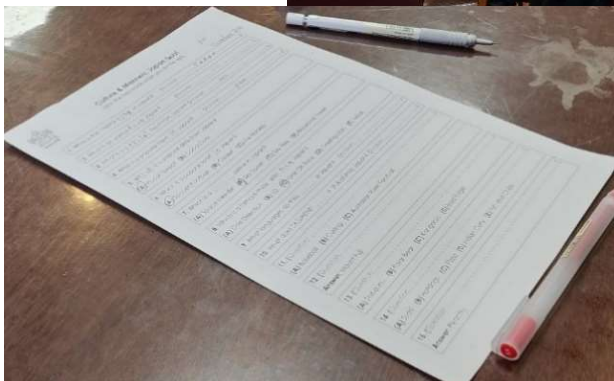
外国人へのおもてなしの一つとして、英語での方角の示し方など道案内の表現を、様々な手法で学びました。





【Lesson 3】 Culture&Manners / teacher : Andrew 11 : 00

様々な国の音楽、言語、スポーツなどの違いや、各国のマナーや習慣は他国ではどのくらいの頻度で行われているのかを、often/usually/sometimes/rarely 等の副詞を使いながら学びました。



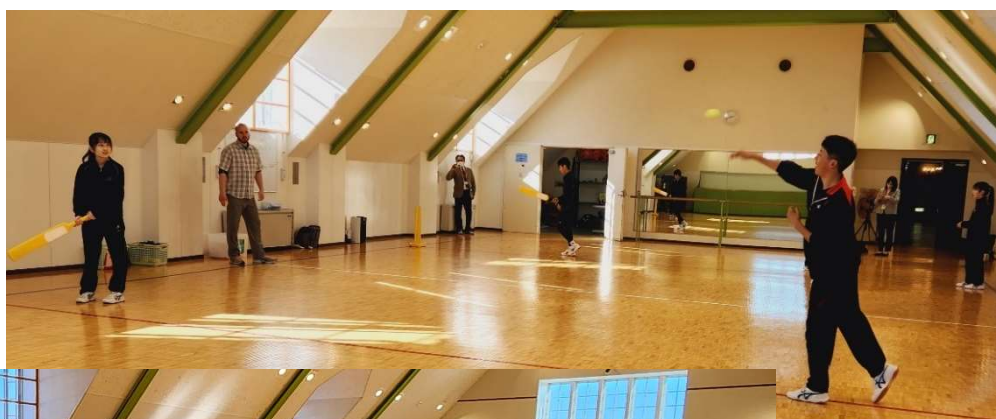
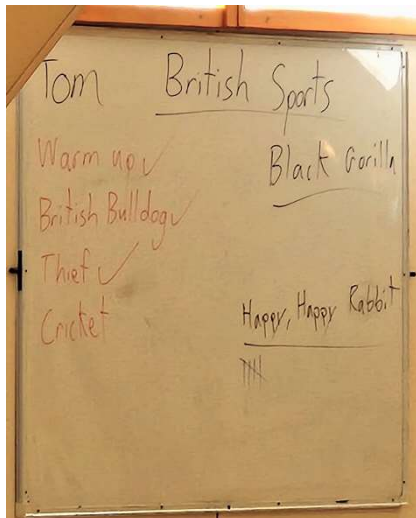


【Buffet lunch】 12 : 40



【Lesson 4】 British Sports / teacher : Tom 14 : 00

ストレッチやダッシュで体を慣らした後、クリケットやホッケーなどの伝統的な英国のスポーツに挑戦し、スポーツ文化の違いに触れました 🏏



様々な国で何千年も前から行われてきたモザイクアートでコースター作りに挑戦です。

コースターの形（丸か四角か）は早い者勝ちでした。

デザインや色合いを自由に決めて・・・



時に協力し合い・・・



工夫を凝らし、個性が光るモザイクコースターが完成しました 🍷



みんなとってもいい笑顔です 😊



【Table manners in English】

18 : 00

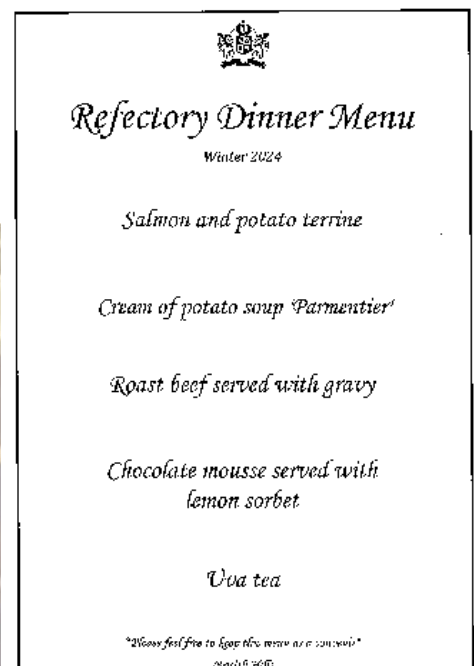
今夜は、コースディナー
です。
その前に、テーブルマナ
ー講座を受講しました。



【Course dinner】

18 : 30

待ちに待ったコース料理です 🍴
テーブルマナーに集中しすぎて、味を忘れてしまった人もい
るかも・・・？



Dinner後の一コマ。
お腹いっぱいになったでしょうか。



19 : 55

ライトアップが、より幻想的な雰囲気を醸し出しています。



【Free time】 20 : 10

Gym で Table tennis をしました 🍎

体を動かすと仲も深まるし気分もすっきりしますよね。



【3日目：2/19（月）】

【Buffet breakfast】 7：00



昨日までとは打って変わ
り、霧が立ち込めてい
ます。
ロンドンを思わせます
ね🌂

【Lesson 6】 Pub Games / teacher : Tiffani、Jamie 9 : 00

伝統的な英国の遊び、ブリティッシュ・パブ・ゲームを体験しました。



→イギリスといえばビートルズ♪

Falstaff-Pubでは、実際に食事ができます。
未成年者は、バタービールなどのノンアルコール飲料の注文もできます。



→牛の鼻輪にリングを通す、シンプルだけど難しいゲーム。

↓真剣にルールを教わっています。



・ Darts



- Dominoes



- Liar's Dice



- Toad in the Hole



- Shut the Box



「ホストファミリーとどんな会話をするのか」、「日本のお土産は何がいいのか」、「困ったときの対処法」など、実際にホームステイで起こりうる問題点やその解決策をグループで話し合いました。
いつかホームステイに行った際に役立ちますね💜



【Lunch】 12 : 45

この日は、英国の全寮制学校の寄宿舎食堂を模したスタイルのDining Hallでのlunchです。

準備から後片付けまでを仲間と協力しながら役割分担して進める食事方法となっており、協調性を身につけることができます💛





【Lesson 8】 British Festivals / teacher : Dominic 14 : 00



英国には、パンケーキデー、メーデー、ガIFOックスなど、英国以外の国ではあまり知られていないお祭りやお祝い事があります。

学んだあとは実際にパンケーキデーなどを体験して、体を動かしました 🍷

【Lesson 9】 British Hills Experience / teacher : Chantelle 16 : 00



海外滞在中に起こりうる様々なトラブルを解決するための表現を学びました。ブリティッシュヒルズの施設を広く使い、時にはスタッフに質問しながら頭と体をたくさん使いました！



→グループ代表の最後の
発表も上手に表現できま
した👏



次はやっと
dinner！！

と、その前に、、

First Floor(英国で
は 1 階を Ground
Floor、2 階をFirst
Floor と い い ま
す。)の高級シャン
デリアと高級絨毯
とともに。

【Buffet dinner】 18:00

気づけば最後の晚餐です・・・。



【Free time】



本日の夜景★ 18:50

雨でぼやけたイルミネーションも情景豊かです。

Falstaff Pabにて。20:00

フードを注文したかったのにラストオーダーが過ぎていたようです・・・。





その後2人はバドミントンをしにGymに行きました📍

【4日目：2/20（火）】



いよいよ最終日！



【Breakfast】 7:00



見慣れたメニューとなりました。



その後は、あっという間のCheck outです。
荷物をcloakに預け、残る2レッスンへ向かいます。

【Lesson10】 Science Challenge / teacher : Shannon 9:00

限られた時間・材料で、英語とチームワークを駆使して、“グレッグ”と呼ばれる卵を安全に着地させるための入れ物を作ります。最後には実際に落として実験しました ●



→チームごとに、どんな入れ物なら安全かを試行錯誤して設計書を作り・・・





←teacherに欲しい材料を英語で伝え・・・

→設計書と材料を基に入れ物を作成し・・・



落とし・・・

全チーム、グレッグ（卵）は
割れることなく着地しました
～！ミッション大成功！！🥳



【Lesson11】 Cooking Scones / teacher : Graham 11 : 00

最後のレッスンでは、英国の伝統的なお菓子、スコーンを作ります！楽しみです！



とってもおいしそうに焼きました！👍

最後の片付けも、全員が協力して行っていました👏



【Buffet lunch】 12:40

いよいよ最後の食事となってしまいました…😞



【Closing Ceremony with Certificates】 teacher: Shannon 14:00



すべてのレッスンが終わり、長いようで短い（短いようで長い？）3泊4日の研修が修了しました。

Closing Ceremonyでは、担当教員が一人ひとりに滞在中のできごと等を尋ねるなどの英会話を交わした後、修了証が手渡されました。

みんなとてもいい笑顔です😊





14 : 50

最後に、ブリティッシュヒルズのスタッフ、教員と一緒に集合写真を撮りました📷



バス車窓から。

いよいよお別れです。
ブリティッシュヒルズのスタッフ、教員の皆さんが最後まで手を振ってくれ、感動のシーンでした…！🥹



17 : 20

ただいま！！

代替事業で国内とはなってしまいましたが、楽しめて勉強になって、そして良い経験になってくれていたらとても嬉しいです。